

第6回災害対策本部会議における 知事コメント

今回の地震の発生から、2日間が経過しました。

余震が続く中、また長引く猛暑の中、人命救助や災害活動に当たっていただいている全ての皆様に改めて感謝申し上げます。

先ほど九州電力から、明日の夕方には停電解消に向けた基礎工事が完了される見込みであるという報告がありました。何とか明日中の停電解消に向けて更なる対応をよろしくお願いします。早急なライフラインの復旧にご尽力いただいた九州電力には改めて感謝申し上げます。

高速道路においても九州道の益城熊本空港・松橋間、南九州道の水俣・田浦間が開通するなど喜ばしいニュースが入ってきております。引き続き、ライフラインの復旧に関係機関の皆様ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

八代地区のガソリン不足が深刻化していたところですが、八代油槽所が本日から搬出可能ということで、大幅にガソリンの供給が可能となる見通しです。経済産業省リエゾンと県、八代市による連携の賜物であり大いに喜ばしいことです。

また、本日午後、政府非常災害対策本部会議にて高市総理から、熊本県庁に政府現地対策本部を設置すると表明がありました。対策本部の必要性は私も申し上げておりましたので、平成28年の熊本地震の際の「K9」のように、国と県が連携し、被災者支援や復興復旧が加速していくことを期待しています。一緒に頑張ってください。

最後になりますが、今回の「令和8年熊本地震」の被害に対して、義援金や県産品の購入等様々な形で全国からご支援をいただいていると伺っております。海外からも激励の声をいただいています。全国・全世界の皆様からの温かいご支援とお心遣いを賜り、心より感謝申し上げます。

引続き一丸となって、被災者支援に全力で取り組んでいきましょう。